

訪日外国人客増加が変える インバウンド需要の現場

昨今の外国人観光客増加により、宿泊施設の稼働も上がり、さまざまな面での需要が変わりつつある。今回はその中から需要が増加するリネンサプライに着目し、新日本ウエックスの野田工場の取り組みについて紹介する。

来日外国人観光客数の増加が好調となっている。政府が目標としていた年間2000万人来日も予定より早く達成しそうな勢いだ。在京のホテルも高稼働が続き、また、関西のホテル稼働率もかつてない好成績を見せている。

そんな中、需要が増加しつづけているのがリネンサプライ業界だ。

過去に例を見ない、特に高級ホテル業態においては顕著である稼働率好調の中、各ホテルはさまざまなサービスの差別化によっておのおのの魅力をセールスプロモーションの武器としている。その中でベッドリネンやバスローブ、タオルといった肌触りなどでお客さまに“リラックス”を提供するサービスの差別化は重要な戦略ツールであり、利用者にとってもホテルを評価する上で必ず評価ポイントとしてあがる条件となっている。

そして、リネンサプライヤーの業界において革新的な発展をしているのが新日本ウエックスだ。

従来の顧客はもちろん、近年特に高級ホテル業態からのオファーがあとを絶たない程の高いクオリティを提供できる理由が、それだ。また、2015年、関東における拠点の一つである野田市の工場を、ほぼ倍の規模にする増設に踏み切った。ホテルのリネンサプライ工場として日本最大規模となり、顧客からの需要に応え、さらに従業員の就業環境を向上させたというから驚きだ。

そこで新日本ウエックス野田工場に取材に伺い、今回の増設の理由について伺った。

「昨今のインバウンドの勢いもあり、関東を中心として、私どもへの需要も非常に上昇しています。それにお応えするために、野田工場を増設し、日産（8時間）70t生産できるようにしました。また、最新技術を駆使して自動化・省力化を図って生産能力を向上させる必要がありました。もちろん環境へ配慮し、省エネであることも重要なポイントです。加えて、より



今回、お話を伺った新日本ウエックス(株) 代表取締役社長 廣瀬純平氏

新日本ウエックス(株)
<http://www.wex.co.jp/>

多くの従業員にとって「働きやすい」工場になるよう環境を整備しました。そういった複数の観点から工場の仕様を検討していきました」

と廣瀬社長。

現在、16の自社工場ですべて全国ホテル5万3000室、関東に限れば3万室、その中でラグジュアリー業態を数えると約3000室のリネンサプライを請け負っているという。特に近年、ラグジュアリー業態からのオファーが増えており、その需要に応えるため、各企業ごとに洗剤の配合からプレスに至るまでのカスタマイズを行ない、高スレッドのリネンにも対応できる環境を整備したという。

今後、観光体系の多様化が進む中、来日旅行における宿泊という要素が重視され、クオリティへの要求が高まることが予想される中、国際的にも高いクオリティを提供できるリネンサプライヤーの存在はますますホテルにおける差別化の一因となり、その需要を伸ばすことが予想される。



2015年に増設した新日本ウエックス野田工場